

3. 関西・北陸・中京を「早く、確実」につなぐ

「早期整備」が重要

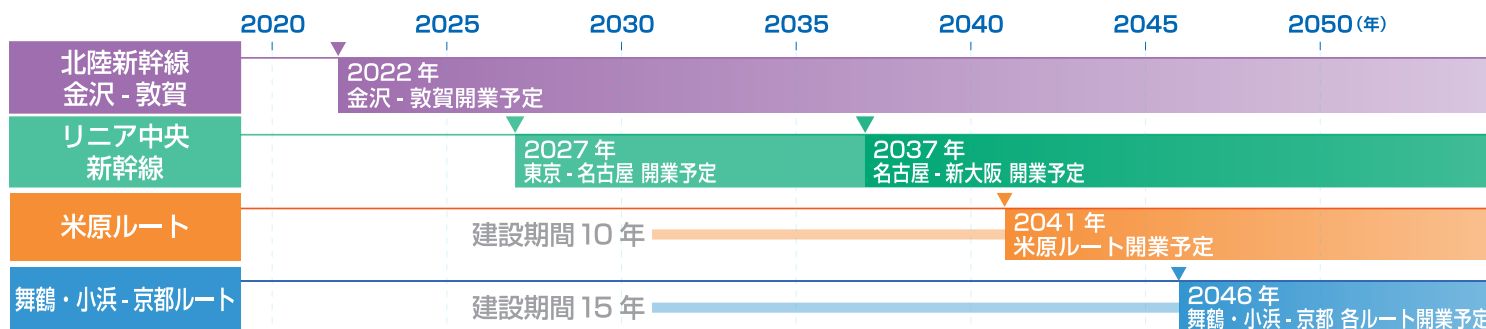
● リニア早期開業を展望し「早く、確実」につなぐことが喫緊の課題。

・広域連合の各構成員は、

「(北陸新幹線が)極めて重要で早急な整備が必要な事業であることを共有し、関西全体の利益を考慮する。

そのため、ルート提案にあたっては、開業までの期間、費用対効果、開業による波及効果などを主たる評価基準とし、総合的に判断する。」

〔北陸新幹線(敦賀以西ルート)提案に係る基本方針〕(H24.3.25 関西広域連合)



● 限られた財源の中で「早く、確実に整備が可能なルート」をすすめる必要があるのではないか。

・「米原ルート」建設には財源的な優位性があり、前倒し整備に向けた力を生み出すことが可能。

		①建設期間	②国・地方予算 国 755 億円 + 地方 377 億円 / 年	③予算総額 ①×②=③	④概算建設費	⑤過不足額 ③-④=⑤
米原ルート	約 50km	10 年	1,132 億円	1 兆 1,320 億円	5,900 億円	+5,420 億円
小浜京都ルート	約 140km	15 年	//	1 兆 6,980 億円	2 兆 700 億円	▲3,720 億円
小浜舞鶴京都ルート	約 190km	15 年	//	//	2 兆 2,500 億円	▲5,520 億円

※新幹線貸付料…北陸新幹線 金沢～上越妙高 (JR西日本管内 168km(営業*)) は 80 億円 / 年 (2015～2045 年)。
 なお、貸付料の算定には、並行在来線の経営分離による収支改善効果も考慮されている。